



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校

平成29年度 12月号

“あいさつ”で 幸せな気持ちと元気を

校長 水野 茂

毎朝、8時20分頃から外に出て、登校する子たちを、「おはようございます」の“あいさつ”を交して出迎え、一日が始まります。そのたくさんの「おはようございます」の中に、最強の「おはようございます」があります。なぜ最強なのか。その子たち(何人かいるので)の「おはようございます」に、「今日も一日がんばろ！」という力が湧いてくるからです。笑顔で、しかもちょっと遠く離れたところから「おはようございます」としっかり届く声でされると、なんとなくの幸せな気持ちと元気が出てくることを感じます。また、そうした“あいさつ”をしている人、できる人も、きっとなんとなくの幸せな気持ちや元気を感じているのではと思います。

「あいさつをしましょう」と、幼い頃から教えられてきていると思います。しかし、中学生になると、面倒になったり、気恥ずかしさが勝ったり、さまざまな感情の揺れ動きから、大事なことだとわかっているけど元気なあいさつができないこともあります(実際には、小学生より中学生の方がしっかりあいさつできると感じています)。あいさつがおろそかになっても、さしあたって困ることも、大きな損害ありません。だからつついしなくなってしまうものです。でも、実はあいさつには、するメリットがたくさんあります。元気な声であいさつすれば、とても多くのものを得ることができるものです。

- 元気にあいさつすると気持ちがいい(あいさつは、するのめされるのめ気持ちがいいものです)
- 笑顔になれる機会が増えます(気持ちも自然と上向きになってきます)
- 相手からの印象がよくなり、人間関係もよくなります(あいさつは相手を認める一番簡単なサインです) など、まだまだメリットはあります。

旭中学校の生徒は、よくあいさつできると言われます。できる皆さんにさらに期待したいことは、あいさつの質を高めること。家族と、クラス・学年の仲間と、部活動の仲間と、先生たちと、来校された方と、そして出会う地域の方々、心通うあいさつ、幸せな気持ちと元気を互いに感じるあいさつに心がけていってください。



落葉前の大銀杏

「人権週間」に

12月4日～10日は「人権週間」です。誰もがもつ人間として生きる権利である「人権」。普段の生活の中では、自分の発した言葉や行動によって「相手がどう思うか」「傷つけたりしないだろうか」と想像できれば「人権」から大きく外れることはありません。しかし、人は時に、相手の気持ちを考えない言動をとってしまう弱い面をもっています。そんな弱い自分が出てこないよう一年365日、一日24時間いつも一緒にいる「自分」をまずよく知り、「自分」と仲良くなってください。そうすることで自分が好きになり、自分を大切に、ひいては、まわりの人も大切にできる人になれると思います。こうしたことを「人権週間」にぜひ考えてみてください。そして、家族のこと、友だちのこと、地域で出会う人たちのこと、遠くで苦しんでいる人のこと、近くで悩んでいる人にも、この「人権週間」を機会に向き合ってほしいと願います。

※人権に関する作品コンクールもあります。ポスター、標語、書道でぜひ応募してみてください。

みんなで築こう 人権の世紀
考えよう 相手の気持ち
未来へつなげよう 違いを認め合う心

12月10日は
人権デーです。

第69回
人権週間 12月4日～10日

法務省では、人権侵害による被害を受けた方を救済するための活動を行っています。お気軽にご相談ください。

みんなの人権 110番 ☎ 0570-003-110
子どもの人権 110番 ☎ 0120-007-110
女性の人権ホットライン ☎ 0570-070-810

http://www.jinken.go.jp/

法務省人権機関 全国人権機関連合会

旭中学校70周年記念事業

夢と絆の講演会

毎年行っている「夢と絆の講演会」を今年は70周年記念事業のひとつとして行いました。地域の



方や卒業生から協賛金をいただいたおかげで、元オリンピックフィギュアスケート日本代表の鈴木明子さんを講師にお招きすることができました。技の習得にひとよりも時間がかかり悩んだこと、摂食障害に苦しんだことなどを分かりやすく生徒たちにお話しくださいました。「ひとつひとつ、少しずつ」目標に向かって進んでいくことが大切であることを訴えかける鈴木明子さんのお話、生徒たちは聞き入っていました。

「がんばって勉強したのに成績が上がらなかった」「私よりもよく部活動を休むのに、どうしてあの子の方が上手なの」「練習してもちっともうまくならない」そんな悩みをもったことのある

人は決して少なくはないでしょう。それでもさらにがんばるためには、自分の目標をしっかりとつことが必要です。本当になりたいもののためなら、努力し続けられます。近い目標でも、小さな目標でもいいので、まずは目標をもちたいものです。

航空写真撮影

11月24日(金)期末テスト後に、70周年記念事業として航空写真を撮影しました。前回の周年事業は50年、次回は100年の予定です。そう考えますと50年間のうちに3学年だけが運良く周年事業の年に当たったこととなります。全校生徒で、校章をかたどったものと集合写真を撮影しました。個人懇談会前に案内と注文封筒を配布します。個人懇談の期間中、東西昇降口にサンプルを掲示します。購入を希望される方は、14日(木)までにお子様を通じて担任にお出してください。現金ですので、登校後すぐに出すようにお声かけください。



【実りのある個人懇談会に】

私の中学3年の時の話です。『冬休みを前に※3冊の問題集を買った。当時こつこつ学習することが苦手だった私は、短期間でできるノルマを自らに課した。この3冊を終えるまでは、一切遊ばないと決め、一日中部屋にこもっていた。がんばりすぎて3日で終えてしまった。そこで次の目標を漢字の完全制覇と決め、今で言うなら「漢字スキル」を最初から最後まで何度もやり直し、完璧にした。これで満足し、正月はのんびり過ごした。』
(※当時高校入試は、英数国の3教科でした。)

大きすぎるノルマは、計画倒れになります。実現可能なノルマを、ひとつずつクリアしていくのも学習方法のひとつです。
寺尾博哉

個人懇談会では、担任や各教科担当から現状や今後の課題についてお話をします。2学期の学習・生活を振り返り、冬休みの目標を立ててほしいと思います。懇談会を実りのある時間にしたいと考えています。

※部活動の終了時刻（最終下校時刻）1月31日まで16:15(16:30)